

PRESS RELEASE

第16回「平塚らいてう賞」受賞者を決定

過去最多となる計15件の応募より3件（顕彰2件、奨励1件）を選出

学校法人日本女子大学（東京都文京区、理事長：今市涼子）は、本日9月20日（火）、研究者・学生の顕彰・奨励を目的とした第16回「平塚らいてう賞」の受賞者を決定いたしました。

本年は、顕彰11件と奨励4件の応募があり、厳正な審査の結果、顕彰2件、奨励1件を選出いたしました。

■受賞者

[顕彰] 婦人国際平和自由連盟(WILPF)日本支部

研究テーマ：「婦人国際平和自由連盟（WILPF）日本支部の100年の歩み
－ジェンダー平等と平和の構築－」

[顕彰] 池上清子氏（長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 客員教授）

研究テーマ：「開発途上国での母子健康手帳を使った母子保健の推進と
その評価」

[奨励] 元橋利恵氏（大阪大学 人間科学研究科 招へい研究員）

研究テーマ：「日本におけるマザリングの包括的研究」

■贈賞式

2022年10月8日（土）14:00 から、日本女子大学目白キャンパス新泉山館にて行います。

■選考委員（五十音順）

坂本清恵 〔日本女子大学現代女性キャリア研究所所長〕

差波亜紀子 〔日本女子大学文学部史学科教授〕

篠原聡子 〔選考委員長/日本女子大学学長〕

高野晴代 〔一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会理事長、
日本女子大学名誉教授〕

PRESS RELEASE

その他、詳細につきましては「平塚らいてう賞」ホームページをご覧ください。

<https://www5.jwu.ac.jp/st/grp/raiteu/>

■平塚らいてうについて

平塚らいてうは、1906（明治39）年に日本女子大学校（現在の日本女子大学）を卒業し、卒業後に発刊した『青鞥』は、日本初の女性だけの手による女性のための文芸雑誌で、女性解放運動の原点となりました。創刊時の「元始、女性は実に太陽であった。」の書き出しは女性解放運動の宣言として知られています。思想家として平和を愛し、女性解放に一生を捧げた女性です。2021年に没後50年を迎えました。

■過去の受賞者

「平塚らいてう賞」ホームページの下記 URL をご覧ください。

受賞者・受賞団体紹介：<https://www5.jwu.ac.jp/st/grp/raiteu/prize.html>

日本女子大学は、日本初の組織的な女子高等教育機関として創立し、昨年120周年を迎えました。私立女子大学唯一の理学部を有し、文理融合の教育環境をもつ女子総合大学です。幼稚園から大学院までの一貫教育、さらに卒業生以外にも門戸を開くリカレント教育など、誰もが生涯を通じて学び、成長し続ける社会を創るための機会を提供しています。多様で非連続に変化する社会において、新しい明日を共に創る人材を育てています。詳しくは、<https://www.jwu.ac.jp> をご覧ください。



学校法人 | 日本女子大学 入学・広報部 広報課内 平塚らいてう賞事務局

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 <https://www.jwu.ac.jp/>

Phone. 03-5981-3163 e-mail. raiteu@atlas.jwu.ac.jp

Facebook. @Official.JWU Instagram. @japan_womens_university Twitter. @JWU_official